

新校舎お祝い集会



9月4日の児童朝会の時に、地域の方々をお招きして、新校舎の完成を祝って、「新校舎お祝い集会」を行いました。

さて、本校におきましては、平成17年の10月下旬よりA校舎の老朽化に伴う新校舎建設工事が始まりました。工事は、1期工事（C校舎と講堂との間に3教室分校舎建設）と2期工事（A校舎取り

壊しおよび新校舎建設）に分けて順次行われる予定です。

昨年度の運動会が終わって工事が始まってからは、運動場が狭くなり体育や休み時間など、子どもたちにとっては何かと不自由なことも多く、また、安全面での心配もありました。しかし、子どもたちが、きまりを守り、教職員が一丸となり子どもの安全に尽力したお陰で、事故なく無事新校舎完成の日を迎えることができました。また、保護者、地域のみなさまの温かいご支援があり、子どもたちが学習する立派な校舎を建設することができました。心より感謝いたしております。



当日、全校の子どもたちが、新校舎の前に集まり、「新校舎お祝い集会」が、始まりました。真新しい校舎の前に並んだ子どもたちは、新校舎の完成を心から喜んでいるように見えました。地域の方の話の中で、本校の各校舎が、節目節目の時に建設されてきたということが述べられていました。今回の工事も学校創立130周年の時に開催されており、榎並小学校の歴史の不思議さを感じさせられました。

続いて、子どもたちの代表として、6年生の2人が、次のような喜びのことばを立派に述べてくれました。

「榎並小学校130周年記念として、C校舎と講堂の間に、新校舎が完成しました。

私たちは、この日を心待ちにしていました。運動場をしきっていた工事用の壁が取り除かれ、エレベーター付きの真新しい立派な校舎を目の当たりにした時、『すばらしいなあ。』という感動、『よい校舎をつくってくださった。』という感謝の気持ち、『大事に使っていこう。』という気持ちがわいてきました。この校舎は、私たちの後輩たちが、これから何十年と使っていきます。壊したり汚したりせず、掃除をがんばり、大切に使っていきたいです。

人にやさしく、めあてをもって、たくましく生きる人になるようがんばりたいです。『楽しさの輪』『友だちの輪』『思いやりの輪』を広げていきます。そして、長い歴史と伝統を受け継ぎながら、さらに、すばらしい学校になるように歩いていきます。」

最後に、代表の子ども2人と地域の方々とでテ－プカットが行われ、「新校舎お祝い集会」が終わりました。子どもたちの心に残る集会になりました。

〔榎並の子どもたちの夏休み〕

榎並っ子第93号に続き、榎並の子どもたちの夏休みについて紹介します。

<プール開放>

7月21日から8月4日まで、夏休み中のプール開放が行われました。今年は、初日が雨のため中止になりましたが、後は好天気にも恵まれ毎日100名以上の子どもたちが、プール水泳を楽しみました。また、プール開放に一日も休まず参加した子が全学年におり、かつ全校で29名いました。最終日に泳力テストが行われましたが、夏休み中のプール開放に参加し泳力を伸ばした子が沢山いました。めあてをもち一つのことにねばり強く取り組むことにより、やり遂げたという成就感を味わい、大きな自信に繋がったことと思います。保護者のご協力、併せて、暑い中受付をしてくださったみなさまにお礼申し上げます。

<地域の行事>

校庭キャンプ、伊賀キャンプ、盆踊りと榎並地域では、子どもたちのためにいろいろな行事が行われました。どの行事もまずまずの天候に恵まれ実施することができ、子どもたちにとって、自然や人とのふれあいを深め、よい夏の思い出になったことと思います。

この他にもラジオ体操や城東まつりへの参加など、子どもたちは、PTAや地域のみなさまのご尽力のお陰で、貴重な体験をすることができ、大きく成長してくれたことと思います。心よりお礼申し上げます。